

1 ゼロカーボンシティ実現に向けた岡崎市の現状 取組経過

時 期	市	国等
2015(H27)年12月	日本版/首長誓約 登録	パリ協定 採択(COP21)
2018(H30)年3月	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)改定 2030年までに2013年比△28%	※国の削減目標 2030年までに2013年比△26%
2018(H30)年10月	世界首長誓約/日本 登録	IPCC 1.5°C特別報告書
2020(R2)年2月	ゼロカーボンシティ表明	
3月	(株)岡崎さくら電力 設立	
7月	SDGs未来都市 選定	
10月		総理による「2050年カーボンニュートラル」宣言
2021(R3)年8月	ゼロカーボンシティ推進本部 発足	
10月	ゼロカーボンシティ推進室 設置	国の地球温暖化対策計画(閣議決定) ※国の方針が示される
2022(R4)年1月	地球温暖化対策実行計画(区域施策編・ 事務事業編)改定に着手	
4月	ゼロカーボンシティ推進課 組織改正	

2 岡崎市の地球温暖化対策

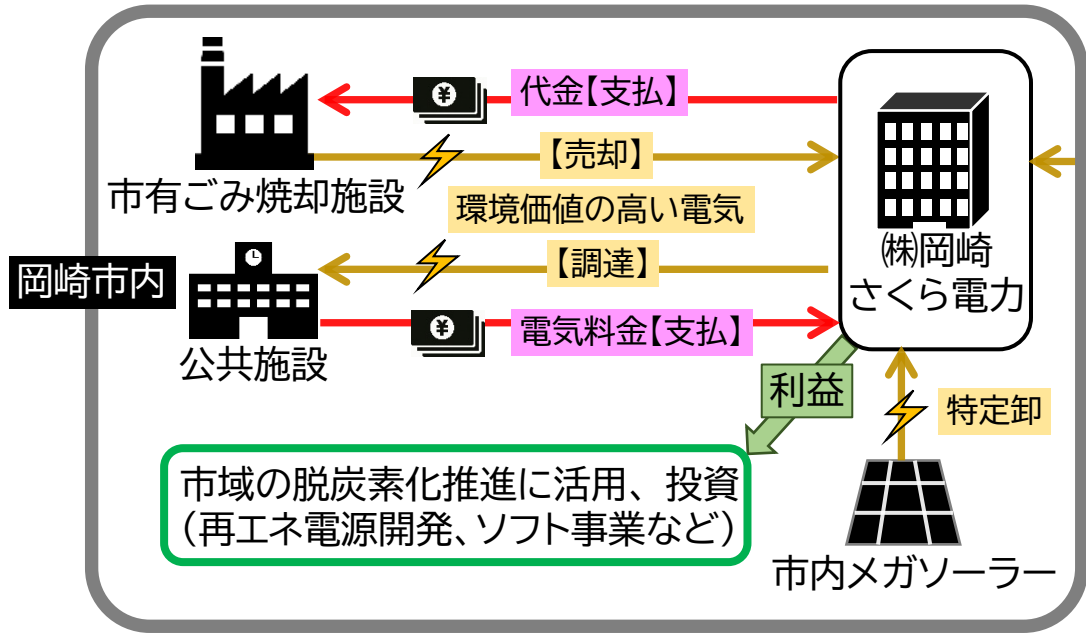
新エネルギーシステム設置等補助業務（住宅用・次世代自動車）

R4予算額：58,250,000円

CO2削減量：920t

	補助対象設備	補助率又は補助単価(上限額)	R2件数	R2金額
住宅用	住宅用太陽光発電システム	1万円/kw又は対象経費の50%(4万円)	273	12,354,000
	家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)	対象経費の5%(5万円)	95	4,239,000
	家庭用エネルギー管理システム(HEMS)	対象経費の25%(1万円)	181	1,747,000
	定置用リチウムイオン蓄電システム	1万円/kwh又は対象経費の5%(7万円)	304	17,056,000
	電気自動車等充給電システム(V2H)	対象経費の5%(5万円)	7	330,000
	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)	1件16万円(16万円)	60	12,000,000
	断熱窓	対象経費の5%(5万円)	-	-
家庭用充電スタンド(新設)	対象経費の5%(2万円)	-	-	
自動車	燃料電池自動車(FCV)	車両本体価格の5%(10又は20万円)	6	800,000
	電気自動車(EV)、プラグイン・ハイブリッド自動車(PHV)	車両本体価格の5%(5万円)	145	7,250,000

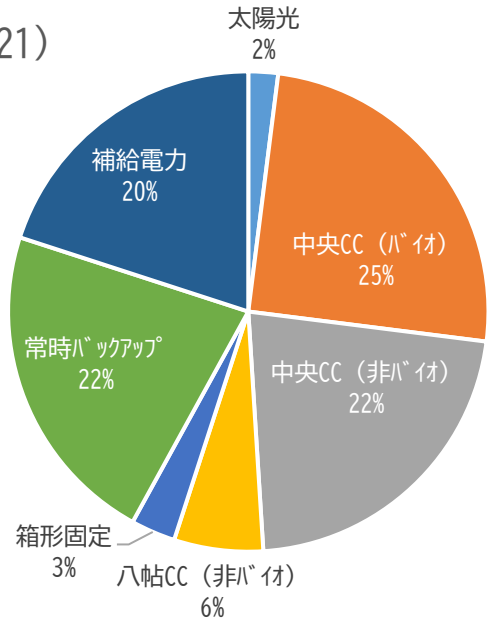
3 地域新電力会社 (株)岡崎さくら電力



目的
 環境価値の高い電気を市内で消費
 資金を市内で循環

期待した効果(利益を活用して)
 利益を活用した市域の脱炭素推進
 市民に還元(避難所の自立化等)
 市の事務事業に伴う温室効果ガス
 排出量削減

電源構成(2021)



商号	(株)岡崎さくら電力
設立	令和2年3月9日
資本金	1000万円
出資比率	岡崎市51% NTTアノードエナジー(株)15% 中部電力(株)15% 東邦ガス(株)15% 岡崎信用金庫4%